

MSM-01：転倒・転落発生率

1. 計測の意義

- 入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものなどさまざまなものがあります。
- 転倒・転落の指標としては、転倒・転落によって患者に傷害が発生した率と、患者への傷害に至らなかった転倒・転落事例の発生率との両者を指標とすることに意味があります。転倒・転落による傷害発生事例の件数は少なくても、それより多く発生している傷害に至らなかった事例もあわせて報告して発生件数を追跡するとともに、それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなります。こうした事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

MSM-01：転倒・転落発生率

2. 集計期間・提出期限

集計期間	提出期限(予定)
25年10月1日～12月31日 26年 1月1日～ 3月31日	7月31日(金)*
26年 4月1日～ 5月31日	10月30日(金)

* 7月31日までにご提出が難しい場合は、10月30日までにまとめてご提出ください。

今年度は、26年6月1日～9月30日までの計測は不要です。

(診療報酬改定の影響をふまえ、今年度は改定前の定義・手順で運用するため、集計期間を調整しています)

MSM-01：転倒・転落発生率

3. 指標定義・使用データ (DPC様式1)

<定義・計算式>

$$\text{計測値(\%)} = \frac{\text{退院患者に発生した転倒・転落件数}}{\text{退院患者の在院日数の総和}} \times 1000$$

<使用するデータ>

DPC様式1	DPC様式3	入院EF統合 ファイル	外来EF統合 ファイル	サーベイランス	その他
○					

MSM-01：転倒・転落発生率

4. 計測手順 (DPC様式1)

1) 分母

手順	使用データ	参照する変数	作業
1	様式1	A000030-1 退院年月日	集計期間に退院した患者を抽出する。 ※ 入院年月日が2024年6月1日以降の場合が対象。
2	様式1	・ A000030-1 退院年月日 ・ A000020-1 入院年月日	1の患者の在院日数※の総和を分母とする。 ※ <u>在院日数 = 退院年月日 - 入院年月日 + 1</u> なお、在院日数を親様式1の「様式1開始日」「様式1終了日」を用いて算出してもよい。

2) 分子

手順	使用データ	参照する変数	作業
1	様式1	A004040-2 転倒・転落回数	分母の対象患者の転倒・転落回数を合計し、分子とする。

MSM-01：転倒・転落発生率

5. よくある質問(FAQ)：DPCデータで計測する場合

最新の「よくある質問(FAQ)」は、オフィシャルサイト(https://jq-qiconf.jcqh.c.or.jp/event/kashika_project_2026/)にて随時更新・掲載します。指標ごとのFAQに加え、全指標共通のFAQも掲載していますので、あわせてご参照ください。

管理番号	質問(Q)		回答(A)	更新日
TN250144	分子	分子の対象にインシデント影響度分類レベル0も含まれますか。	<p>【様式1の場合】 「転倒・転落回数」(実際に院内で転倒・転落が発生した回数を対象)に従ってください。</p> <p>【様式3の場合】 補助票の「転倒・転落の発生件数」に従ってください。</p> <p>DPCデータの入力対象・入力基準そのものに関する疑義は、DPC事務局または厚生労働省担当部局へご確認ください。</p>	26.06.03
TN250306	分子	乳幼児の転倒についても転倒回数にカウントするのか。	貴院内で定められた基準で、医療安全管理部門へインシデント・アクシデント報告がなされているものはカウントします。	26.06.03
TN260044	計測値	計測値が通常の百分率より10倍に見えます。計算式は誤りですか。	いいえ。当該指標は、単位が百分率(%)ではなく千分率(‰:パーミル)です。そのため、計算式は「分子 ÷ 分母 × 1,000」です。百分率(%)の「分子 ÷ 分母 × 100」と比べると、数値が10倍に見えますが、千分率としては正しい表示です。	26.06.03

MSM-01：転倒・転落発生率

6. 参照値 (25年度可視化プロジェクト計測結果：24年10月-25年9月・様式1)

	全施設	200床未満	200床～399床	400床～599床	600床以上
施設数	246	65	82	63	36
平均値	2.64	2.86	2.82	2.38	2.31
最大値	17.20	6.74	11.08	4.48	17.20
75 ^パ -センタイル	3.18	3.70	3.29	2.90	2.43
中央値	2.40	2.64	2.57	2.32	1.96
25 ^パ -センタイル	1.73	1.88	1.83	1.91	1.43
最小値	0.01	0.33	0.01	0.42	0.08

MSM-01 : 転倒・転落発生率

7. 参考資料 1/2

- 一般社団法人日本病院会 QIプロジェクト 指標一覧 (2025年度)
 - ▶ 一般病床定義・算出方法 (DPC外) No. 3-a 入院患者の転倒・転落発生率
<https://qi.hospital.or.jp/pointer/file/1751269428.pdf>
 - ▶ 療養病床定義・算出方法 No. 3-a 入院患者の転倒・転落発生率
<https://qi.hospital.or.jp/pointer/file/1751339552.pdf>
 - ▶ 精神病床定義・算出方法 No. 3-a 入院患者の転倒・転落発生率
<https://qi.hospital.or.jp/pointer/file/1751340001.pdf>
- 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業) 「医療の質評価と医療情報の提供に関する調査研究」令和3年度 総括研究報告書
共通QIセット2021/10/21版「入院患者での転倒転落発生率」
https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202122065A-sokatsu1.pdf#page=18
- 公益社団法人全日本病院協会 診療アウトカム評価事業
No. 059 転倒・転落発生率
<https://www.ajha.or.jp/hms/qualityhealthcare/>
- 令和6年度 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療の質の評価・公表等推進事業 全日本民医連報告
指標6A 入院患者の転倒・転落発生率
https://www.min-iren.gr.jp/hokoku/data/hokoku_r06/houkoku_r06_06.pdf
- 日本赤十字社 令和6年度 医療の質の評価・臨床評価指標
医療安全 06 転倒・転落①「入院患者での転倒転落 発生率」
<https://www.jrc.or.jp/medical-and-welfare/medical/pdf/20260224-bc3976cee93b04114a13ac0fb4da5c07a8882b57.pdf#page=19>

MSM-01：転倒・転落発生率

7. 参考資料 2/2

- 2025年度DPCの評価・検証等に係る調査（退院患者調査）実施説明資料版
https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/setumei_20250530.pdf#page=67